

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	建築生産 1	
科目基礎情報					
開設学科	建築設計科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	初学者の建築講座建築施工 市ヶ谷出版社、必携建築資料 実教出版株式会社				
担当教員情報					
担当教員	久本晴一郎		実務経験の有無・職種	有・施工管理	
学習目的					
近年の建設業界における様々な施工不備や施工不良における社会的影響や、最新技術に対応できる組織の重要性を鑑み、優秀なる施工管理者のニーズは高まっている。建築生産1は建築物を生産するための知識の習得を学習目的とし、まずは建築生産、躯体工事における建築五大管理（品質管理、工程管理、予算管理、安全管理、環境管理）に則した施工管理法の知識の習得、及び建築施工管理業務、建築施工監理業務の実務に則した知識、さらには、一級、二級建築施工管理技士、並びに、一級、二級建築士の学科試験合格に準ずる知識の習得も学習目的とする。					
到達目標					
建築生産躯体工事における建築五大管理に則した施工管理法の知識の習得ために次の3点を到達目標とする。 ① 建築五大管理が理解できる。 ② 毎回の確認小テストで80点以上、得点することができる。 ③ 工程表が作成できる。					
教育方法等					
授業概要	講義中心に授業を進め、理解度を深める。講義内容について、常に、建築五大管理について考え検討し、実際の建築工事現場なども機会があれば積極的に見学し理解を深める。各回毎に確認小テストを実施し理解の到達度を教員、生徒、それぞれ確認し合う。又、参考映像等を試聴した場合、レポートを必ずまとめ、理解を深め、今後の建築業務に生かせるようにする。				
注意点	授業で配付したプリント、小テスト等は各自でしっかり保管し、授業中でも閲覧できるようにしておくこと。できればクリアファイル等にて管理することを推奨する。授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験を総合的に評価する		
	小テスト	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	映像の試聴時など、理解度を確認するためにレポートにまとめ、チェックを実施する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス～建築五大管理		建築生産の流れや建築五大管理を理解できる。		
2回	施工計画		施工計画が理解できる。		
3回	仮設工事		仮設工事が理解できる。		
4回	土工事		土工事が理解できる。		
5回	山留工事		山留工事が理解できる。		
6回	基礎・地業工事		基礎・地業工事が理解できる。		
7回	鉄筋工事①		鉄筋工事について鉄筋の部位が理解できる。		
8回	鉄筋工事②		鉄筋工事について配筋工法が理解できる。		
9回	型枠工事		型枠工事が理解できる。		
10回	コンクリート工事①		コンクリート工事についてコンクリート品質が理解できる。		
11回	コンクリート工事②		コンクリート工事についてコンクリート打設工法が理解できる。		
12回	鉄骨工事①		鉄骨工事について工場製作が理解できる。		
13回	鉄骨工事②		鉄骨工事について接合工法が理解できる。		
14回	鉄骨工事③		鉄骨工事について建方工法が理解できる。		
15回	木工事～建築生産1総まとめ		木工事が理解できる。建築生産1の総まとめ。		